

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。9月の勉強会は、言語聴覚士 萩原典子氏（NST スタッフ）からの講義でした。

「摂食機能療法について」

摂食機能療法(1日につき) 185点

摂食機能療法は、摂食機能障害を有する患者に対して、個々の患者の症状に対応した診療計画書に基づき、医師又は歯科医師若しくは医師又は歯科医師の指示の下に言語聴覚士、看護師、准看護師、歯科衛生士、理学療法士又は作業療法士が1回につき30分以上訓練指導を行った場合に限り算定

当院では言語聴覚士又は摂食機能訓練院内認定看護師が所属する病棟において看護師、准看護師が実施した場合に算定致します。

摂食場面観察

- 食物形態
- 介助状況
- 摂食姿勢
- 集中度
- 摂り込み
- 咀嚼
- 喉頭の上下運動・むせ
- 摂食時間



経口摂取成功のポイント

- 何を…食形態
 - どんな姿勢で…摂食時の姿勢
 - どれくらいずつ…一口量
 - どんなペースで…摂食のペース
 - どれだけ…摂食量
- 食べるか
- 咽頭残留の除去…複数回嚥下、横向き嚥下、交互嚥下

摂食機能療法とは？

「人生80年！ 食べたいと思う物を、最期まで楽しく口から食べる。」という当たり前な行為の実現を、究極の目標とした診療であり学問です。患者様が安全かつ食生活を楽しめるよう、心身機能の改善を図り、患者様に合わせた食事や栄養摂取のスタイルの確立を目指します。

次回のNST・褥瘡勉強会予定

平成25年11月7日(木)18時～19時 場所未定
 「PICC(末梢穿刺中心静脈カテーテル)について」です。